

おしえぐさ

7月19日発行

知名町立知名小学校

「ほめる」と「励ます」

校長 長野 秀樹

長い一学期が終わりました。子どもたちは、よくがんばりました。どの子も、成長の跡が見られます。今日は、「通知表」を持って帰ります。私は小学校の学級担任を15年間務めました。1年生から6年生まで、担任として受け持った子どもの数は400人以上になります。

その経験を通して、子どもを伸ばすには、「ほめる」のがとても大切だということが分かりました。子どものがんばりやよさを進んで見つけるようにし、「がんばったね。」「さすが。」「すごい。」などの声かけをしていました。

ここで、「ほめる」ことによってもたらされる三つの効果を紹介します。

一つ目は、子どもは何か一つのことで「ほめられる」と、自分に自信ができます。つまり、自己肯定感が持てるようになります。すると、他のことでもできそうな気がしてきます。運動でも勉強でも、その他の何でも、「できるはずだ。やってみよう。」「チャレンジしてみよう。」という意欲が出てきます。

二つ目は、子どもは、ほめてくれる相手に対して、必ずよい感情を持ちます。「お母さんは、ぼくのことを認めてくれている。」「お父さんは、私のことをよく思ってくれている。」と思えるようになります。親の愛情を実感できている子は、ますますがんばるエネルギーがわいてきます。自分を愛してくれている親に対して素直な気持ちになることができます。

三つ目は、子どもは「ほめられて」、親の愛情を実感すると、心がぽかぽかしてきて温かい気持ちになります。自分の心が満たされているので、兄弟や友達にも温かい気持ちで優しく親切に接することができるようになります。

ある日、テストで90点取った子どもが飛ぶように帰ってきたとします。その子どもの喜びの声を聞いたとき、ご家庭では、どのように声をかけられるのでしょうか。「わあ、すごい。よくやったね。」多くの方は、おそらくこのように「ほめる」のではないかと思われます。しかし、もしかしたら、そのあとに次のような言葉も��けてしまうのではないかでしょうか。「じゃあ、今度は100点をめざしてがんばろうね！」

このとき、子どもは、最初に感じた「ほめられた」という気持ちが一気に半減し、がんばれと「励ました」という気持ちに変容してしまうのです。ですから、こういった声かけは、上手に演出しなくてはなりません。「ほめる」ときは、そのあとについ続けてしまいがちな「励ましの言葉」をぐっと我慢して、思いっきりほめてあげることが大切だと考えます。

もちろん、むやみに「ほめればいい」というわけではなく、「ほめる内容とタイミング」が重要です。子どもが何らかの努力をしたとき、あるいは子どもに何らかの進歩や成長が見られたとき、そして、人間としてすばらしい行為をしたとき。こんなときは、余計な「励まし」の一言は付けずに、思いっきり「ほめて」あげたいものです。

校内水泳大会

着衣水泳



心と体の教室

1学期の心と体の教室は、「特別支援教育」をテーマに、講師に来てとの内山さんを招いて講話ををしていただきました。

多数の御参加、ありがとうございました。

7月3日に校内水泳大会が行われ、子供たちは自分の目標に向かって、学習の成果を発揮し頑張りました。多くの声援、ありがとうございました。

また、1学期最後の週は、着衣水泳を実施し、身近な物を使って浮く体験をしました。

むんがたい



毎月1回、朝の活動の時間帯で読み聞かせをしていただいている。子供たちは、毎回楽しみにしています。

ありがとうございます。

日	曜	8月	行事予定
1	木	出校日	学級活動 清掃活動
11	日	(祝)	山の日
12	月		振替休日
14	水		学校閉庁日(～16日)
21	水	出校日	学級活動 清掃活動
31	土		PTA奉仕作業

日	曜	9月	行事予定
2	月	2学期始業式	大掃除 学級活動 いじめ問題を考える週間(～7日)
8	日		沖永良部高校体育祭
9	月	学級PTA	島ムニ週間・生活リズム週間(～13日)
11	水		避難訓練(地震→津波)
14	土	土曜授業日	
16	月	(祝)	敬老の日
22	日		知名中学校体育大会
23	月	(祝)	秋分の日
26	木		運動会会場づくり
29	日		秋季大運動会
30	月		振替休日

1日保護司 体験



「社会を明るくする運動」の一環で、町内小中学校の代表児童が1日保護司として、知名Aコープ前で啓発活動を行いました。

8月の目標

生活目標 ○ 安全で楽しい夏休みにしよう

保健目標 ○ 規則正しい生活をしよう